

「熱中症警戒アラート」の全国での運用開始について

環境省と気象庁は、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測される場合に、暑さへの「気づき」を呼びかけ国民の熱中症予防行動を効果的に促す「熱中症警戒アラート」について、令和3年4月28日（水）から全国で運用を開始します。

<気象庁同時発表>

1. 背景・目的

近年、熱中症搬送者数が著しい増加傾向にあることから、どのように情報を発信し、国民の効果的な予防行動に繋げるかが課題となっていました。このため、環境省と気象庁は、有識者による検討会を開催し、令和2年夏に、暑さ指数（WBGT）（参考1参照）に基づき、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測される場合に、新たに暑さへの「気づき」を呼びかけ国民の熱中症予防行動を効果的に促す「熱中症警戒アラート（試行）」を関東甲信地方で先行的に実施しました。

令和2年度に実施された「熱中症警戒アラート（試行）」の検証結果等を踏まえて、令和3年度から全国で運用を開始します。

2. 「熱中症警戒アラート」の運用開始について（別紙1、別紙2参照）

令和3年度から全国で運用を開始する「熱中症警戒アラート」の概要は以下のとおりです。

- 発表単位
 - 全国を58に分けた府県予報区等を単位として発表（北海道、鹿児島県、沖縄県を細分化）
- 発表基準
 - 発表対象地域内の暑さ指数（WBGT）算出地点のいずれかで日最高暑さ指数33以上と予測した場合に発表
- 発表タイミング
 - 前日の17時及び当日の朝5時に最新の予測値を元に発表
- 情報提供期間
 - 毎年4月第4水曜日から10月第4水曜日
 - 令和3年は、4月28日（水）17時から10月27日（水）5時発表分まで
- 情報提供サイト
 - 熱中症警戒アラート発表情報や該当都道府県内の予測地点毎の暑さ指数（WBGT）は環境省熱中症予防サイト等で情報提供（参考2参照）

3. 適切な熱中症予防行動の定着

なお、政府は、令和3年3月25日に策定した「熱中症対策行動計画」（参考3参照）において、以下の目標を掲げています。

中期的な目標：熱中症による死亡者数ゼロに向けて、できる限り早期に死亡者数年1,000人以下を目指し、顕著な減少傾向に転じさせる。

令和3年夏の目標：「熱中症警戒アラート」などに基づき、国民、事業所、関係団体などによる適切な熱中症予防行動の定着を目指す。

【参考1】

暑さ指数（WBGT）とは、気温、湿度、輻射熱（日差し等）からなる熱中症の危険性を示す指標である。

【参考2】

「環境省熱中症予防情報サイト」

（PC）<https://www.wbgt.env.go.jp/>

（スマートフォン）<https://www.wbgt.env.go.jp/sp/>

（携帯電話）<https://www.wbgt.env.go.jp/kt/>

添付資料

[別紙1 熱中症予防のための新たな情報発信「熱中症警戒アラート」について \[PDF 284 KB\]](#)

[別紙2 熱中症警戒アラート 発表時の予防行動 \[PDF 1.5 MB\]](#)

連絡先

環境省大臣官房環境保健部環境安全課

代表 03-3581-3351

直通 03-5521-8261

課長 太田志津子 (内線 6350)

課長補佐 中川 正則 (内線 6359)

主査 榊原 崇広 (内線 6365)

環境省水・大気環境局大気環境課大気生活環境室

代表 03-3581-3351

直通 03-5521-8300

室長 山本 郷史 (内線 6540)

室長補佐 石関 延之 (内線 6541)

係員 笠井 崇弘 (内線 6578)

担当 大堀 裕之 (内線 6542)

関連情報

関連Webページ

[政府における「熱中症対策行動計画」の策定について（令和3年3月25日）](#)

[「気象庁ウェブサイトにおける熱中症警戒アラートのページアドレス」※4月28日以降、熱中症警戒アラート発表状況へのアクセスが可能になります](#)

令和3年4月28日より全国で本格実施

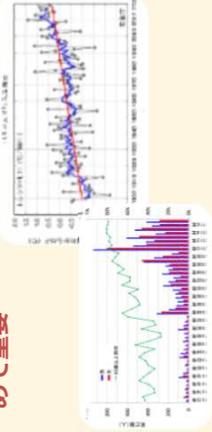
環境省 × 気象庁

熱中症警戒アラート

環境省・気象庁が新たに提供する、暑さへの「気づき」を呼びかけるための情報。熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境が予測される際に発表し、国民の熱中症予防行動を効果的に促す。

1. 背景

- 熱中症による死亡者数・救急搬送人員数は増加傾向にあり、気候変動等の影響を考慮すると熱中症対策は極めて重要



3. 発表の基準

- 府県予報区内のどこかの地点で暑さ指数 (WBGT) が33以上になると予測した場合に発表

暑さ指数 (WBGT)	注意すべき点 (注意事項)	暑中・熱中症の危険性	熱中症予防対策の目安
33℃以上	暑熱による健康被害の発生が予測される。特に高齢者や子どもは健康被害のリスクが高くなる。	熱中症の発生が予測される。特に高齢者や子どもは健康被害のリスクが高くなる。	熱中症予防対策を徹底する。特に高齢者や子どもは健康被害のリスクが高くなる。
28～31℃	暑熱による健康被害の発生が予測される。特に高齢者や子どもは健康被害のリスクが高くなる。	熱中症の発生が予測される。特に高齢者や子どもは健康被害のリスクが高くなる。	熱中症予防対策を徹底する。特に高齢者や子どもは健康被害のリスクが高くなる。
25～28℃	暑熱による健康被害の発生が予測される。特に高齢者や子どもは健康被害のリスクが高くなる。	熱中症の発生が予測される。特に高齢者や子どもは健康被害のリスクが高くなる。	熱中症予防対策を徹底する。特に高齢者や子どもは健康被害のリスクが高くなる。
21～25℃	暑熱による健康被害の発生が予測される。特に高齢者や子どもは健康被害のリスクが高くなる。	熱中症の発生が予測される。特に高齢者や子どもは健康被害のリスクが高くなる。	熱中症予防対策を徹底する。特に高齢者や子どもは健康被害のリスクが高くなる。

注1) 日本生気象学会指針より引用
注2) 日本スポーツ協会指針より引用

2. 発表方法

- 高温注意情報を、熱中症の発生との相関が高い暑さ指数 (WBGT) を用いた新たな情報に置き換える

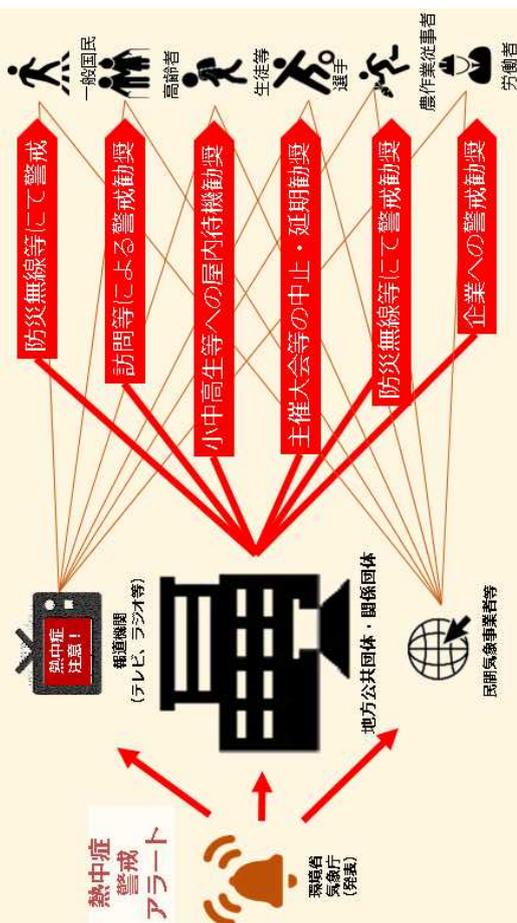
暑さ指数 (WBGT) とは、人間の熱バランスに影響の大きい **気温 湿度 輻射熱** の3つを取り入れた暑さの厳しさを示す指標です。

※各地域の暑さ指数は環境省の熱中症予防情報サイト参照

4. 発表の地域単位・タイミング

- ＜地域単位＞
- 気象庁の府県予報区単位で発表
 - 該当府県予報区内の観測地点毎の予測される暑さ指数 (WBGT) 情報提供
- ＜タイミング＞
- 前日の17時頃及び当日の朝5時頃に最新の予測値を元に発表
 - 報道機関の夜及び朝のニュースの際に報道いただくことを想定
 - 「気づき」を促すものであるため、一度発表したアラートはその後の予報で基準を下回っても取り下げない

5. 情報の伝達方法 (イメージ)



6. 発表時の熱中症予防行動例

- 熱中症の危険性が極めて高くなると予測される日の前日または当日に発表されるため、日頃から実施している熱中症予防対策を普段以上に徹底することが重要。
- (例)
- ▶ 不要不急の外出は避け、昼夜を問わずエアコン等を使用する。
 - ▶ 高齢者、子ども、障害者等に対して周囲の方々から声かけをする。
 - ▶ 身の回りの暑さ指数 (WBGT) を確認し、行動の目安にする。
 - ▶ エアコン等が設置されていない屋内外での運動は、原則中止/延期をする。
 - ▶ のどが渇く前にこまめに水分補給するなど普段以上の熱中症予防を実践する。

7. 令和3年度以降の検証について

- 令和3年度の全国展開以降、定期的に「熱中症警戒アラート」の発表状況等を踏まえた検証を実施し、効果の算出に努める。
- 継続的に検証を重ね、今後の熱中症対策の課題改善に繋げる。

熱中症 警戒アラート

発表時の予防行動

熱中症警戒アラートは、熱中症の危険性が極めて高い暑熱環境になると予想される日の前日夕方または当日早朝に都道府県ごと^(※)に発表されます。

発表されている日には、外出を控える、エアコンを使用する等の、熱中症の予防行動を積極的にとりましょう。

※北海道、鹿児島、沖縄は府県予報区単位



外出はできるだけ控え、暑さを避けましょう

- 熱中症を予防するためには暑さを避けることが最も重要です。
- 昼夜を問わず、エアコン等を使用して部屋の温度を調整しましょう。
- 不要不急の外出はできるだけ避けましょう。



熱中症のリスクが高い方に声かけをしましょう

- 高齢者、子ども、持病のある方、肥満の方、障害者等は熱中症になりやすい方々です。これらの熱中症のリスクが高い方には、身近な方から、夜間を含むエアコンの使用やこまめな水分補給等を行うよう、声をかけましょう。



熱中症警戒アラート 発表時の予防行動



普段以上に「熱中症予防行動」を実践しましょう

- のどが渇く前にこまめに水分補給しましょう。
(1日あたり1.2Lが目安)
- 涼しい服装にしましょう。



- 屋外で人と十分な距離
(2メートル以上)を確保できる場合は適宜マスクをはずしましょう。



外での運動は、原則、中止／延期をしましょう

- 身の回りの暑さ指数 (WBGT) に応じて屋外やエアコン等が設置されていない屋内での運動は、原則、中止や延期をしましょう。



暑さ指数 (WBGT) を確認しましょう

- 身の回りの暑さ指数 (WBGT) を行動の目安にしましょう。
- 暑さ指数は時間帯や場所によって大きく異なるため、身の回りの暑さ指数を環境省熱中症予防情報サイトや各現場で測定して確認しましょう。

※環境省熱中症予防情報サイト：<https://www.wbgt.env.go.jp/>



熱中症とは

熱中症とは、暑い環境で体温の調整ができなくなった状態で、めまいや吐き気、頭痛、失神等様々な症状をきたし、最悪の場合は死に至る疾患です。誰でもなる可能性があり、運動中だけでなく、室内でも起こります。日頃からしっかり予防するようにしましょう。

暑さ指数 (WBGT) とは

暑さ指数 (WBGT) とは、気温、湿度、輻射熱 (日差し等) からなる熱中症の危険性を示す指標で、「危険」「嚴重警戒」「警戒」「注意」「ほぼ安全」の5段階があります。段階ごとに熱中症を予防するための生活や運動の目安が示されていますので、日常生活の参考にしましょう。

「熱中症警戒アラート」は環境省のLINE公式アカウントで確認することができます。

友達追加はこちら →

